

[PRESS RELEASE]

2009年2月17日  
東京大学医学部附属病院  
救急部・集中治療部

東京都の医療崩壊を防ぐには  
～ 救急医療の東京ルールの概要と展望～  
主催 東京都の救急医療を考える会

東京都の救急医療を考える会では、救急医療の東京ルール施行に先立ち、猪瀬直樹東京都副知事をゲストに向かえ、東京都の救急医療体制を考えるシンポジウムを開催します。

医療現場、患者、行政の代表者によるディスカッション形式で、理想の救急医療像を描き共有するきっかけとなることを目指します。

【背景】

救急崩壊、医療崩壊が叫ばれるようになり久しく年月が過ぎました。この間、多くの議論がなされ幾つかの制度の見直しが行われました。しかし、未だ医療現場、患者、行政の誰も、明確な解決策をイメージできずにあります。

現在の救急崩壊を招いた原因は、医療現場、患者、行政のそれぞれにあると思われます。医療現場では、医療従事者ならばあまねく携わっていた救急医療の担い手を、救急医と呼ばれるような限られた集団に局限してきました。患者の医療サービスに対する要求が高まるあまり、患者と医療が対立する状況が長く続きました。厚生労働省の長期のビジョンを欠いた現場との乖離の有る政策は、国民の公衆衛生に十分に利するものではありませんでした。

真に東京の救急医療、延いては日本の救急医療を立ち直らせるためには、医療現場、患者、行政の三者が歩み寄り、国民全体で新たな医療システムを創造していくことが焦眉の急と考えます。

本シンポジウムが、医療現場、患者、行政の代表者の対談により、より良い東京都の救急医療像を描き共有する一助となることを願います。

【日 時】 2009年3月26日(木曜日) 19時～21時

【会 場】 東京大学医学部鉄門記念講堂(東京大学本郷キャンパス内)  
〒113-8654 文京区本郷7-3-1

【参加費】 無料

【定 員】 250名

【ホームページURL】 <http://square.umin.ac.jp/qgtokyo/>

【参加申し込み】 ホームページよりお申込みください。

【申し込み締め切り】平成21年3月25日（水曜日） 定員になり次第締め切ります。

【プログラム】

19:00 開会の辞

「本シンポジウムの趣旨」・「大学病院の関わり」(プレゼンテーション)

矢作直樹（東京大学医学部附属病院 救急部・集中治療部 部長）

**第一部：プレゼンテーション**

19:05 「東京発医療改革」

猪瀬直樹（東京都副知事）

19:15 「東京 ER での経験」

濱邊祐一（東京都立墨東病院救命救急センター 部長）

19:20 「東京都の産婦人科救急」

中井章人（日本医科大学多摩永山病院女性診療科・産科 部長）

19:25 「都民が医療機関に求めるもの」

伊藤隼也（医療ジャーナリスト）

19:30 「救急医療の東京ルール策定の経緯」

石原哲（白鬚橋病院 病院長）

19:35 「2次救急医療機関の現状と問題点」

猪口正孝（平成立石病院 理事長）

**第二部：ディスカッション**

19:40 「救急医療の東京ルールの展望」

20:15 「東京発医療改革」

20:55 閉会の辞

石原哲（白鬚橋病院病院長）

---

**〈本件に関するお問合せ先〉**

東京大学医学部附属病院

集中治療部 担当：助教 松原 全宏

電話：03-5800-9441（内線 37739） E-mail：[todayqq@gmail.com](mailto:todayqq@gmail.com)

**〈取材に関するお問合せ先〉**

東京大学医学部附属病院

パブリック・リレーションセンター 担当：深井

電話：03-5800-9188（直通） E-mail：[pr@adm.h.u-tokyo.ac.jp](mailto:pr@adm.h.u-tokyo.ac.jp)

---

【参 考】

東京大学医学部附属病院 東京大学医学部鉄門記念講堂（東京大学本郷キャンパス内）

所在地：〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1 <http://www.h.u-tokyo.ac.jp/>

